

活動報告

団体名	大阪ボランティア協会
活動名	災害ボランティアセンター支援を通じた被災者支援活動
活動期間	2018/9/4 ~ 2018/10/3
活動の成果	<p>災害ボランティアセンターを開設しても、運営者や活動するボランティアが不足している状況だったが、当協会が募集・送り出した職員やボランティアが応援に行くことで、状況が改善した。特に傾聴活動を予定していた岸和田市災害ボランティアセンターには、当協会パートナー登録団体の「福祉カウンセリング協会」と連携し、傾聴活動に強みや関心のあるボランティアを調整した。またトラックを希望するセンターにはトラックを持参できるボランティアを調整し、運営支援者を希望するセンターには運営経験豊富な職員やボランティアを調整するなど、できるだけ希望に合わせた調整を心がけた。そうして各ボランティアセンターで不足していた資源を効果的に補うことができ、ボランティアの特徴を最大限生かしてもらえたため、効果的な被災者支援活動につながった。</p> <p>また、災害救助法適用外となったこともあり、被災市町の社会福祉協議会などの声を集めて発信する組織が不在だった。そこで当協会が声を集めて発信するよう努めたことで、たいへん多くの被害が発生していることや、多くのボランティアが必要とされていることを市民に知ってもらうことができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>台風 21 号による住家被害数は、全壊・半壊・一部損壊を合わせて大阪府内だけでも約 66,407 件（大阪府危機管理室発表、2018 年 12 月 25 日時点）となっています。これは平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）の住家被害数が全国で 50,470 件（消防庁発表、2019 年 1 月 9 日時点）を上回る数です。</p> <p>もちろん、台風 21 号の被害は一部損壊がほとんどで、災害の規模で言えば西日本豪雨のほうが大きいと言うべきでしょう。それでも、瓦屋根が破損して雨漏りがしているにもかかわらず、お金がなかったり工務店の順番待ちだったりして、直すことのできない人がまだ大勢いらっしゃいます。カビに侵されて朽ちていく家に住まざるを得ない人の気持ちを考えると、自分の無力を嘆かずにはいられません。</p> <p>今回、わずかでもこうした人々のお役に立つことができたのは、目立たない災害にも目を向けていただき、ご寄附いただいたみなさまのおかげです。心よりお礼申し上げます。</p>

(活動のようす)

